

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	熊本看護専門学校
設置者名	学校法人華苑学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
3年課程看護専門課程	看護学科	夜・通信	540 単位時間	240 単位時間	
		夜・通信			
助産師課程（全日制）看護専門課程	助産学科	夜・通信	285 単位時間	80 単位時間	
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

http://www.kumamotokango.ac.jp/disclosure/

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	熊本看護専門学校
設置者名	学校法人華苑学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<http://www.kumamotokango.ac.jp/disuclosure/> 「令和2年度情報提供等への取組に関するガイドラインに基づく情報提供」へ

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	医療法人金澤会理事長	平成30年6月1日～令和4年5月31日	運営全般へのチェック機能
非常勤	医療法人清和会理事長	平成30年6月1日～令和4年5月31日	運営全般へのチェック機能
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	熊本看護専門学校
設置者名	学校法人華苑学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>教育目的・目標を基に学習目標・目的の設定を行っており、目標達成に向けたシラバスの作成に取り組んでいる。</p> <p>内容については、前年度の授業評価を見直し、学生の学習効果や学生の特性・対応力を基に方法論や内容の見直しを行っている。</p> <p>外部講師に関しても、学生の学習効果を高める方法や最新の情報を取り入れた講義内容となるように、毎年見直しを依頼している。</p> <p>作成に関しては年度ごとに冊子として作成し、年度初めに配布している。またホームページにシラバスの情報公開を行っている。</p>	
授業計画書の公表方法	http://www.kumamotokango.ac.jp/disuclosure/
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>シラバスの内容に、授業評価の方法や配点を表示しており、学生に初講の際に担当教員より説明を行っている。記載されている方法に基づき厳格かつ適正に評価している。</p> <p>学科試験受験資格は学習評価・単位・卒業・修了認定基準第 4 条に基づき当該科目について規定時間数の 3 分 2 以上出席した者とする。</p> <p>成績の基準は学習成果に基づき 100 点満点で点数化し、80 点以上を優、70 点～79 点を良、60 点～69 点を可、60 点未満を不可とし、60 点以上に履修を認定し、単位を授与している。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>学生の学習成績は学則第4章11条規定に従い、学年ごとに開講される科目の学科試験の合計点数を、学年ごとに開講される科目の数で除算したものをもとに算出し、学年ごとに順位付けしている。</p> <p style="text-align: center;"> 学年ごとに開講される学科試験の合格点数 平均点 = $\frac{\text{合格点数}}{\text{科目数}}$ 学年ごとに開講される学科試験の科目数 </p> <p>平均点の算出には本試験の点数および60点以下の場合、再試験を実施し、その点数を用いる。また学生の成績分布についても、上記方法により算出した数値により適切に把握している。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>http://www.kumamotokango.ac.jp/disclosure/</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>学生に対して看護師として必要な知識及び技術を教授し、社会に貢献しえる有能な人材を育成することを目的とする。そのため学則第5条に定める修業年限を在学し、看護学科97単位、助産学科29単位の成績を修めることを卒業要件とする。</p> <p>学生の卒業認定についても規定に従い適切に実施している。ディプロマ・ポリシーについてはホームページに公開。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>http://kumamotokango.ac.jp/disclosure/</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	熊本看護専門学校
設置者名	学校法人華苑学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.kumamotokango.ac.jp/disclosure/
収支計算書又は損益計算書	http://www.kumamotokango.ac.jp/disclosure/
財産目録	http://www.kumamotokango.ac.jp/disclosure/
事業報告書	http://www.kumamotokango.ac.jp/disclosure/
監事による監査報告（書）	http://www.kumamotokango.ac.jp/disclosure/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		3年課程看護 専門課程	看護学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3,090 単位時間	1,260 単位時間	825 単位時間	1,035 単位時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			3,120 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
240人		246人	人	13人	41人	54人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）人間の生命を尊重し、自ら考える行動ができる豊かな人間性を備える教育内容を基盤とし、状況判断や医療安全を考えたシミュレーション教育を専門分野・統合分野に取り入れ看護実践能力の向上を図っている。保健医療福祉が連携して総括的、組織的に取り組み、人々の健康状態がより高いレベルになるように、科学的根拠に基づいた看護実践ができるようなカリキュラムを構成している。 評価方法は学生にわかりやすく表記している。
成績評価の基準・方法
（概要）学科試験の成績は100点満点により80点以上を優、79～70点を良、69～60点を可、60点未満を不可とし60点以上を合格とする。学科試験を受けることができるものは、当該科目について規定時間の3分2以上出席したものの。
卒業・進級の認定基準
（概要）・卒業認定基準は基礎分野13単位、専門分野13単位、基礎分野Ⅰ13単位、専門分野Ⅱ38単位、統合分野12単位の合計97単位取得したもの。 ・進級基準は1年生36単位、2年生42単位、3年生19単位で必要な単位を取得したもの。

<p>学修支援等</p> <p>(概要) ・学年ごとに学年統括・学力強化・健康管理・実習管理など役割分担を決めてサポートする。</p> <p>・実習施設と連携し、実習環境を整える。</p>
--

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
58人 (100%)	人 (%)	54人 (93%)	4人 (7%)
(主な就職、業界等) 県内実習病院 34 名、実習病院以外 11 名、県外医療施設 9 名			
(就職指導内容) 就職資料コーナーを設け情報提供、個別相談			
(主な学修成果 (資格・検定等)) 看護師国家試験受験資格			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
239 人	12 人	5.0%
(中途退学の主な理由) 学業成績不振による継続困難		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学年担当教員による学業から、生活までサポート 学校カウンセラーによるカウンセリング		

学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		助産師課程 (全日制) 看護専門課程	助産学科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	945 単位時間	450 単位時間		495 単位時間		
			945 単位時間 / 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
15人		13人	人	3人	19人	22人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 知識・技術の習得だけでなく、知識を用いて判断力や応用力をたかめ、地域に貢献できる助産師を育てたく、カリキュラムを編成している。 学習目的・目標にそって学習内容・方法など十分検討を加えて授業計画を作成している。専任教員の授業科目は助産師の現場で実践経験を経験したものが担当する。評価方法は学生にわかりやすく表記している。
成績評価の基準・方法
(概要) 学科試験の成績は100点満点により80点以上を優、79~70点を良、69~60点を可、60点未満を不可とし60点以上を合格とする。学科試験を受けることができるものは、当該科目について規定時間の3分2以上出席したものの。
卒業・進級の認定基準
(概要) 基礎助産学6単位、助産診断・技術学8単位、地域母子保健1単位、助産管理2単位、研究1単位、臨地実習11位の合計29単位取得したもの。
学修支援等
(概要) 実習施設と密に連携を行い、実習環境を整えている 臨床実践者の授業を取り入れ、最新の技術・知識を学ぶ

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
13人 (100%)	人 (%)	13人 (100%)	人 (%)
(主な就職、業界等) 県内実習病院 1人、県内実習病院以外 5人、県外医療施設 7人			
(就職指導内容) 就職資料コーナーを設け情報提供、個別相談			

(主な学修成果(資格・検定等)) 助産師国家試験受験資格、受胎調節実施指導員の申請資格
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
13人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任による学生へ学業から生活までサポート 学校カウンセラーによるカウンセリング		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
看護学科	200,000 円	540,000 円	250,000 円	施設整備費 200,000 円、実習費 50,000 円
助産学科	200,000 円	840,000 円	400,000 円	施設整備費 200,000、実習費 200,000 円
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.kumamotokango.ac.jp/disclosure/		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 本校の学校関係者評価委員会規定に基づき卒業生、保護者、地域住民、教育に関わる実習施設の関係者、そのた教育に関する有識者から構成される委員会を組織し、より実践的な職業教育の質を確保するため、教職員が実施した自己評価項目 (教育目標、教育課程経営、入学、卒業など) について、教育活動の観察や意見交換を通じて評価を実施してもらう。 教職員は学校関係者評価の結果を活用し、教育活動及び学校運営などの質の保証と向上に継続的に努めていく。評価結果は理事会・評議員会で報告し、公表することとしている。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
熊本大学名誉教授	令和2年4月1日から 令和4年3月31日	大学・高校等の教職員
熊本赤十字病院看護部管理者	令和2年4月1日から 令和4年3月31日	企業委員
町内会役員	令和2年4月1日から 令和4年3月31日	地域住民
済生会熊本病院看護師	令和2年4月1日から 令和4年3月31日	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.kumamotokango.ac.jp/disuclouser/		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.kumamotokango.ac.jp/disuclouser/
--

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	H143310000086
学校名	熊本看護専門学校
設置者名	学校法人華苑学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		13人	13人	23人
内 訳	第Ⅰ区分	13人	13人	
	第Ⅱ区分	—	—	
	第Ⅲ区分	—	—	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				23人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	—		
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下)	0人		
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人		
「警告」の区分に連続して該当	0人		
計	—		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡つて認定の効力を失った者の数

右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期		後半期

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)	0人		
GPA等が下位4分の1	—		
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	0人		
計	0人		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。